



～県大と地域をつなぐ～

この情報紙は、県立広島大学庄原キャンパス（以下「県大」と表記）の学生や教授が、どんなことを行っているのかだけでなく、市内で学生と活動している人たちを紹介し、大学と地域をつなぐことを目的としています。



学生活動紹介！

*タイトルにある「はげら池」は県立広島大学庄原キャンパスにある池の名称です。

県大陸上部

12月4日（日）庄原市スター式駅伝大会が開かれ、県大からは、陸上部とスポーツ好きの有志による2チームが出走しました。成績は市内の部34チーム中、陸上部が3位、スポーツ好きの有志チームも6位と大健闘。中でも陸上部のアンカーを務めた久安康平君は一般の部で区間賞を取る活躍でした。

陸上部は現在11名（短距離2、跳躍1、投てき1、長距離7）で週3回練習しており、毎年6月には上野総合運動公園で開催される広島県学生陸上選手権をはじめ、中四国学生陸上対校選手権大会や雲南市記録会にも出場されています。現在部員が少ないことや地域との交流も視野に、市内の高校陸上部と合同練習を実施できればと考えています。



久安君、たすきを受け取る！



陸上部のメンバーの皆さん

地域から県大へ！

ファーマーズハンズ ～OB・OGの方から現役生へエール～

ファーマーズハンズは、県大の農業ボランティアサークルで127名が在籍する県大で一番大きいサークルです。

現在、庄原にお住まいの細井澄秋・実礼さん夫婦、黒郷博美さんは、平成16年4月にファーマーズハンズを立ち上げた当時のメンバー。皆さんは、このサークル活動を通じて得た縁をきっかけに、本市に定住されました。

現在も現役のファーマーズのメンバーと、ボランティア活動を通して地域貢献や交流を行なわれています。

現役のメンバーに対しては、「今その当時に振り返ってみると、自分たちの技術の未熟さや、活動と地域の人たちが望んでいる内容との差を感じることがあります。学生の皆さんはそこまで気づくのは難しいと思うので、思いきり活動を楽しんで、そこで得たつながりや経験を大切にしてほしい」とメッセージを送られました。



初代メンバーの細井澄秋・実礼さん、黒郷さん

ファーマーズハンズの情報は公式 Facebook で公開中！

<https://www.facebook.com/Farmers-Hands-農林業ボランティアサークル-317090935085635/>



～地域の食材を利用した加工商品開発～ 吉野准教授



吉野准教授 研究室にて

吉野智之准教授は、地域の食材を利活用した新たな商品開発や、商品になる過程で廃棄されていた物を有効活用するといった食品製造工学を中心に顕微学、環境材料工学の研究を行っています。これまで、和泉光和堂と共同で液化した有色米や広島菜漬のクッキー、梅酒ケーキを開発。また、液化有色米のラーメンの麺としての利用や、高野りんご、西城や東城の夏いちごを使った商品開発に力を入れています。更には食品副産物から植物性生分解性プラスチックの開発として、とうもろこし由来のたんぱく質からできた食べられるフィルムや、おからの育苗ポットなども開発されています。

吉野准教授は庄原市内の文化財、史跡・名勝から地域の食文化や、なぜその地域でそうしたものが作られ食べられてきたのかという歴史的背景も調べられており、お話を伺う中で、地域連携を密にし、地域の人と一緒にやっという想いを持ち、地域の特色をいかした特産品の開発に力を入れて下さっていると感じました。



吉野准教授が和泉光和堂と共同開発した
古代米クッキー「むらさきのゆめ」

～HIROCA と連携推進～

学生証が IC カードに！

このたび、県立広島大学では、ICカード機能を搭載する学生証を導入されることとなりました。このICカードには地域電子マネー「HIROCA（ヒロカ）」機能が付与されることから、このICカードを使った庄原市街地のにぎわい創出に協力することを目的に、「HIROCA」を運営する(株)広島銀行、県立広島大学及び庄原市の3者による連携推進の調印式が12月9日に行われました。

今後は、広島銀行が市街地を中心に「HIROCA」を利用できる店舗を10店舗程度増やし、学生がこの店舗で買い物等をするにより、割引サービス等各種特典を受けられることも予定されています。

今回「HIROCA」の加盟店として参画予定のとある店舗の方は「学生が市街地へ出てくれるきっかけが増えることは嬉しい。今以上にお店に来てもらって、時には店舗を学生のイベントに利用してもよいので、一緒に賑わいを創っていききたい」と話されていました。



ICカード機能が付いた学生証（見本）

編集後記

大学の先生と聞くと堅くて真面目なイメージがあり、気軽に話づらいのかと思っていたのですが、これまでにお会いした先生は、皆さん気さくな方で良い意味で予想を裏切られています。今回の取材でお会いした吉野准教授とは、鉄道やガンブラ（ガンダムのパラモデル）の話で盛り上がりました。特に鉄道に関しては、若い頃 JR(当時は国鉄)全線踏破されたとの事で先日のサテライトゼミナールでも半分は鉄道の話になる位でした。そんな先生達をもっと市民の皆さんに知っていただければと思い、お茶を飲みながら大学の先生と語らう「サイエンスカフェ」を開催したいと考えています。

地域おこし協力隊
日置 大輔

